

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

いすゞ自動車株式会社（証券コード：7202）

【据置】

| | |
|---------|-----|
| 長期発行体格付 | A+ |
| 格付の見通し | 安定的 |
| 債券格付 | A+ |
| 国内CP格付 | J-1 |

■格付事由

- 国内大手トラックメーカー。大型トラックでは19年以降、AB VOLVOと戦略的提携を進め、その一環で21年4月にUDトラックスの事業を取得し、連結化した。小型トラックではトヨタ自動車等との協業によってCASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）対応を進めている。
- 小型トラック事業での高いプレゼンスに加え、国内ではトラックのアフターセールス事業（整備・部品など）、海外ではピックアップトラックの新車ビジネスの利益貢献が大きいことが格付を支えている。足元の業績は新興国の一部で需要が低調な中でも半導体不足の改善などを背景に好調に推移している。UDトラックスとの協業によるシナジー効果も車両共通化による開発費削減など計画に沿って出ている。財務健全性も維持されている。環境規制対応については、当社は小型トラックでEV化を進めている一方、大型トラックではニーズを踏まえて方向性を見極める段階にある。UDトラックス等との協業を含め、大型トラックでの環境規制対応に向けた商品化への取り組みを注視していく。また業界内で再編の動きがあることから主要市場での販売や技術面での競合状況をフォローしていく。以上より格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- 24/3期営業利益は過去最高を更新する2,800億円の計画であり、好調に推移している。新興国の一部で需要が低調であるが、資材費上昇に対して価格転嫁が進んでおり、アフターセールス事業も好調である。中期的にもアフターセールス事業の利益貢献、高いグローバル競争力を背景に堅調な業績推移が予想される。提携・協業のシナジー効果発現と環境規制対応の状況、ピックアップトラック市場での優位性の維持などをフォローしていく。
- UDトラックスの事業取得で22/3期に有利子負債は増加したが、自己資本比率は24/3期第2四半期末44.6%まで改善し、財務健全性は維持されている。中期的に環境規制対応で投資が増加する局面も想定されるが、キャッシュフロー見通しを踏まえれば今後も健全な財務構成を維持可能と考えている。

（担当）窪田 幹也・上村 暁生

■格付対象

発行体：いすゞ自動車株式会社

【据置】

| 対象 | 格付 | 見通し |
|---------|----|-----|
| 長期発行体格付 | A+ | 安定的 |

| 対象 | 発行額 | 発行日 | 償還期日 | 利率 | 格付 |
|------------------------|-------|------------|------------|--------|----|
| 第30回無担保社債（社債間限定同順位特約付） | 300億円 | 2021年2月4日 | 2026年2月4日 | 0.140% | A+ |
| 第31回無担保社債（社債間限定同順位特約付） | 200億円 | 2021年2月4日 | 2028年2月4日 | 0.270% | A+ |
| 第32回無担保社債（社債間限定同順位特約付） | 300億円 | 2021年9月29日 | 2026年9月29日 | 0.110% | A+ |

| 対象 | 発行限度額 | 格付 |
|------------|-------|-----|
| コマーシャルペーパー | 500億円 | J-1 |

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年11月27日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：窪田 幹也
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「自動車」（2023年8月1日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） いすゞ自動車株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度についてのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいで行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル